


 Ortensia
 vol. 3
 イムス横浜狩場脳神経外科病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

『あじさい～ Ortensia(イタリア語)～』の由来は病院脇に咲いていて、花言葉に【辛抱強い愛情】【家族の結びつき】とあります。花言葉の通り、職員一丸となって地域の人たちに深い愛情をもって接していきます。



副院長挨拶 ～ 第3号へよせて ～

当院は脳神経外科領域の病気を治療することに特化した病院です。発症直後の急性期から回復期のリハビリまでを一貫して行い、自宅や施設への退院を目指しています。入院患者さまで一番多い病気は脳卒中です。脳卒中とは『脳の病気で突然倒れる』ことを意味しています。正式には脳血管障害といえます。

脳血管障害は大きく分けて3種類あります。1)脳への血液の流れが悪くなったり、途絶して脳組織が死んでしまう脳梗塞、2)脳の中を通っている細い血管が破けて、脳の中に出血し血が溜まる脳出血、3)脳の表面の太い血管に瘤(動脈瘤といえます)が出来て、それが破裂して起こるくも膜下出血、4)その他に分類されます。脳卒中では脳梗塞が全体の3/4を占める数多い病気です。

脳血管障害を起こし壊れた脳組織は、場所や大きさにより、様々な後遺障害を発生します。発症直後から慢性期(およそ6ヶ月くらい)までリハビリを行い、少しでも後遺障害が少なくなるよう治療し、再発予防も心がけます。

また前触れもなく突然発症することが多く、気づいた時には手足が動かないという状態になり、精神的にもダメージがあります。そのため、心のケアにも十分配慮していきます。



副院長
桑原 孝之



理事長秘書 荻野課長



理事長賞
ゲットしました☆

納涼祭

8月26日(金)院内で納涼祭が行われ、多くの職員や家族が参加しました。来賓として IMSグループ理事長 中村哲也先生、中野業務局長、荻野課長を迎え、くたかけ会水島会長(リハビリ科主任)の開催宣言で納涼祭が始まりました。

今回のコンセプトは『鎌倉と湘南』で、サザンオールスターズのライブをイメージし、職員は全員アロハシャツで参加しました。また人力車、ソムリエやシェフに扮した職員の演出や、理事長賞のテーマパークチケットを賭けたじゃんけん大会では、白熱した勝負が繰り広げられました。食事もコンセプトに沿った内容で、メインの肉料理の他に、湘南名物のしらすを使ったちらし寿司や稲荷寿司、デザートに『鎌倉』と焼き印が押されたごま饅頭が振る舞われました。

今年も中村理事長が参加されるとのことで、新入職員によるバンドが結成され、1ヶ月前から早朝練習を重ねてきました。そして本番当日、ライブは練習の成果を発揮して(?)大成功!!を収め、昨年(イタリア編)とは違った雰囲気納涼祭となりました。

来年はどのような納涼祭になるのか、今から楽しみです。



本部 中野業務局長



第4回 無料医療公開講座開催!!



7月16日(土)第4回無料医療公開講座を開催しました。

谷井院長による基調講演『脳卒中の予防と脳ドックの役割』は、席が足りなくなるほど多くの参加があり、終了後の質疑応答でも様々な質問が飛び交いました。その後のリハビリ体操では、会場のみなさまがセラピストの動作に合わせて一緒に身体を動かし、大変な盛り上がりでした。続いて飯塚薬局長によるお薬についての講演、検査体験コーナーでは頸動脈エコーや骨密度測定などの体験、相談コーナーでは日頃の悩みや疑問を看護師や管理栄養士、社会福祉士、薬剤師などに相談でき、相談後は笑顔で帰宅される姿も見受けられました。

今回の公開講座は、100名を超える参加があり、地域のみなさまと交流を深めることができました。公開講座は今後も定期的に開催する予定です。機会がございましたら、ぜひご参加ください。



戸塚・保土ヶ谷地区 合同医局会

6月6日(水)IMSグループ施設の連携強化を目的に、「戸塚・保土ヶ谷地区合同医局会」が開催され、谷井院長をはじめ医師4名、事務部3名が参加しました。中村理事長先生の開会の挨拶後、3病院・2施設が発表を行いました。

当院からは、桑原副院長が『脳病変と癌』と題し、癌が脳にもたらす影響と症状、グループ病院に転院になった症例を発表しました。

この合同医局会でグループ施設の機能や得意分野を再認識し、患者さまに適切な医療を受けてもらえるよう、今後も連携を深めていきたいと思ひます。



看護フェスティバル



みなさまの声を聴き、健康
予防の手伝いが出来たこと
で、改めて看護のやりがい
を実感する事が出来まし
た！

5月21日(土)東戸塚西武オーロラモール屋上にて、看護の心をみなさまに知っていただきたく、当院・東戸塚記念病院・新戸塚病院の3病院合同で看護フェスティバルを開催し、晴天の中、約150名の方に参加していただきました。

体験・相談コーナーでは『ストレスチェック』『リハビリ体験』『体脂肪測定』『血糖値測定』『骨密度測定』『薬剤相談』『栄養相談』『AED体験』が行われ、多くの方が熱心に体験や相談をしていて、健康意識の高さが伺えました。また子供の試着・写真撮影コーナーでは、医師の白衣は男の子に一番人気、女の子にはナース服が大人気でお子様連れの方に大盛況でした。

今後も地域密着型として毎年続けて開催していきます！



IMSフェスタ2016スポーツ大会 バドミントン男女ペア・綱引き決勝進出



目指せ
優勝!!



《綱引き》 渡邊 徹 飯塚 真至 今野 王晴 内 数輝
大塚 沙織 松田 鈴果 宮沢 優 金原 衣理子

《バドミントン》
苫米地 崇紀
松田 鈴果 ペア

IMSフェスタは50周年から60周年までの10年の軌跡をグループ各施設及び全職員で共有、スポーツ大会、施設インフォーマーシャルコンテスト等様々なアトラクションからなる職員参加型のイベントです。
当院はスポーツ大会全7競技に参加し、バドミントン男女ペアと綱引きで決勝に進出しました。

編集後記

編集責任者として初めて広報誌を作成しました。今号のテーマは鎌倉と湘南の夏です。テーマにあった雰囲気や、私の個性がでているでしょうか？ 皆さんに楽しんで読んでもらえると嬉しいです。
地域医療連携室 内野 由美子



日本脳神経外科学会認定専門医研修施設 日本神経学会認定専門医研修施設 日本脳ドック学会認定施設

医療法人社団 **イムス横浜狩場脳神経外科病院**
明芳会
IMS YOKOHAMA KARIBA HOSPITAL OF NEUROSURGERY

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町218番地9号
TEL 045-721-3131 / FAX 045-721-3113